

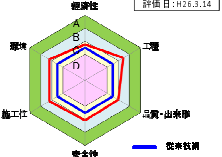


分類: No.21 コンクリート打継ぎ面処理技術

番号	①	②	③	④
技術名	KKシート工法			
NETIS番号	掲載期間終了技術(KK-020007-V)			
開発者	川田建設(株)、協立エンジニア(株)			
工種	コンクリート工 - コンクリート工 - コンクリート打設			
建設技術審査証明	建設審証 第0120号 有効期限: H29.3.16			
技術位置付け	[H23準推薦] [設計比較]			
国土交通省活用件数	176件 (H27.112時点)			
工法概要	本技術は、コンクリートの打継ぎ面に円錐台形状の突起を有する樹脂製KKシート(KKシート)を型枠に取り付け、コンクリート表面に凹凸を推奨に形成する工法で、従来はチッピング等で対応していましたが、本技術の活用により打継ぎ面の品質向上や施工の合理化等が期待できます。			
概略図等				
目的	均質な打ち継ぎ面処理、施工の合理化			
特徴	従来技術の主要作業を伴うチッピング作業時間が、シート取り付け、剥がし作業程度に置き換えられるため、工期短縮が期待できる。			
使用箇所	コンクリート構造物の鉛直打ち継ぎ面			
施工時期	型枠枠の製作後、建て込みまでに設置			
適用範囲	コンクリート構造物の鉛直打ち継ぎ面 ・コンクリート設計基準強度は、21～50N/mm <sup>2</sup> ・打ち継ぎ処理面形状は、一辺100mm以上 ・コンクリートの粗骨料最大径は、25mm ・旧コンクリートとの材令差は、38日以内とする。			
適用できない範囲	上記以外			
材料寸法	縦900mm×横900mm			
材料の保管期間	KKシートの保管期間を3ヶ月以内とする。			
材料の転回回数	1回			
材料の設置等に 必要な工具	記載なし。			
設計時の留意事項	・適用範囲外の用途に際しては、施工者が経験などにより打ち継ぎ面の性状を確保する必要があります。 ・適用範囲に記載された、断端寸法や骨材寸法などの制限に留意すること。			
施工時の留意事項	・取り扱いは、油や塩分、ゴミ等の付着を防ぎ、傷や変形を受けないようすること。 ・KKシートの保管は、直接地上に置くことなるべく避け、梱包した状態で室内に保管すること。また、厚めに置く場合には適切な重いを施し、保管期間を3ヶ月以内とする。 ・使用後のKKシートを転用してはならない。 ・KKシートは可燃物であるため、火傷等に十分注意すること。 ・取り剥がしたKKシートは回収し、所定の廃棄処分を行うこと。			
維持管理等の留意事項	・直接地上に置くことなるべく避け、室内に保管する。 ・埋めて長期保管とする場合は、直射や汚れを避けて保管し、保管期間を3ヶ月とする。			
その他の留意事項	・「KKシート」設計・施工マニュアルを参照すること。			
施工手順	① 型枠の製作 ② KKシートの取り付け ・KKシートは打ち継ぎ面の型枠に推奨に取り付けること。 ・KKシートの加工が必要な箇所は適切な処理を行うこと。 ・シートの取り付けは適切な重さや押付方法により行う。 ③ 型枠の選定・建て込み ・型枠は荷崩れ等を起こさないように選定すること。 ・KKシートがずれないように建て込むこと。 ④ コンクリート打込み・締固め・養生 ・打ち込みは先立ち、KKシートの表面にはゴミ等の付着がないように注意すること。 ・KKシート面には、はく離剤等を塗布してはならない。 ・施工計画に基づき、コンクリートの打込み・締固め・養生を行う。 ⑤ 型枠の取りはずし ・型枠の取りはずしは施工計画に基づき行う。 ⑥ KKシートの取り剥がし・清掃・湿潤処理 ⑦ 打ち継ぎコンクリートの打込み 			
従来技術	チッピングによるコンクリート鉛直打継ぎ面の目直し処理			
事後評価結果	 <p>評価日: H26.3.14</p> <p>【設計比較対象技術】</p> <p>【注記】                      ・型枠へのシート取り付けと脱型後のシート除去のみで済み、チッピング作業が不要となることにより、工期の短縮が図られている。</p> <p>【留意事項】                      ・特になし。</p>			